

## My Favorite Life Style



# ここが自慢 ～品川区～

## 定住意向が90%超!「住み続けたいまち」品川区の魅力。

令和4年(2022年)に品川区が実施した「第25回世論調査」では、「ずっと住みたい」「当分は住みたい」との回答を合わせた定住意向が何と91・7%にも達したという。同様の調査では、東京都全体で70・8%、23区内でも72・4%というので、いかに高い数値であるかがお分かりだろう。評価の理由は多岐にわたるので、ここで特に際立つポイントについて眺めてみよう。

まず挙げられるのが、利便性だ。品川区内には実際に14の鉄道線が乗り入れており、東海道新幹線の品川駅(住所は港区)にもJRと京急線や空港バスで直通と、文句ナシのフットワークを誇る。

これだけでも離れる気など湧かないのも納得だが、調査では加えて「周囲の環境が良い」という声が非常に目立つ。地域特性に合わせた計画的なまちづくりのほか、天王洲運河や目黒川といった豊富な水辺の風景を活かすスポットや

専門誌やネットメディアで馴染みの「住みたいまち」のランキングでは、全国上位の常連となっている品川区。メディアが実施するアンケートでも読者の自由投票でも常に大きな支持を集めているが、それは公的な調査でも変わらない。品川区の世論調査でも、区民の定住意向の強さは明確に表しているのだ。

### 延べ40駅、商店街は98か所 暮らしやすさが際立つ好環境



© 2023 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L634911

**品川区 Instagramアカウント  
リニューアルしました!  
品川区の情報を配信中!**



@wa.shinagawa

**小中一貫教育をいち早く導入  
持続可能な社会への取り組みも**

さらに、公教育の充実度も見逃せない。中でも注目したいのが、平成18(2006)年度から実施している先進の教育システムだ。GIGAスクール構想の実現に向けた施策では、品川区立学校に通うすべての児童・生徒に一人一台のタブレット端末を配備。これまでの公立校が築いてきた英知を活かしながら組織・運営上の課題を克服し、より効率的な学びを支えるための施策が多数採用されている。これらは、1年生からの9年間の系統的な英語教育など品川独自のカリキュラムや地域・保護者らの積極的な参画を促す品川コミュニケーション(ティ・スクール制度などとともに「品川教育ルネサンス」と名付けられ、これからの時代

立地的なアドバンテージに留まらず、まちづくり、環境づくりも高く評価される品川区。その魅力の詳細は、下の二次元コードから。

### Biz Life Style Pick up >>>

#### 品川区PR冊子「つなごう品川」

区の施策、地域の取り組み、人口などのデータ、歴史などをわかりやすくコンパクトに紹介しています。  
区役所(本庁舎5階 広報広聴課、第三庁舎3階 区政資料コーナー)で配布している。



品川区役所 東京都品川区広町2-1-36  
TEL: 03-3777-1111(代表) <https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>  
開庁時間 / 8:30~17:00  
休日 / 土日祝、年末年始(12月29日~1月3日)  
※一部 日曜開庁、火曜延長窓口あり



品川区シティプロモーション特設サイト  
[www.city.shinagawa.tokyo.jp/wa/](http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/wa/)

品川区シティプロモーション 検索

